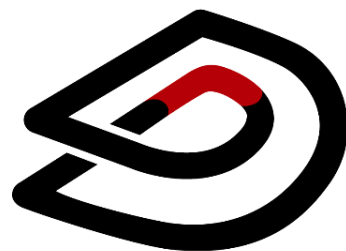


人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

**2024年9月期 第1四半期
決算説明資料**

当第1四半期は、**7四半期ぶりに四半期営利13百万円の黒字**となり、前四半期対比で大幅に改善。
フィンテック事業も継続して成長を重ねており、**早期にGC注記の解消**を目指す



全社第1四半期 営業黒字の達成

当Q営利 13百万円
当Q四半期利益 37百万円
前Q営利 ▲138百万円

債務免除益47百万円が金融収益に計上された結果、四半期利益も大幅に改善し、37百万円となった

通期予想に対して、
当初想定よりも非常に
堅調な進捗状況



流通総額 15四半期連続成長 前年同Q比1.4倍

当第1四半期流通 14.0億円
前第1四半期流通 9.8億円

当第1四半期流通14億円
15四半期連続成長



フィンテックセグメント 売上・粗利 前年同Q比約2倍

当第1四半期粗利 1.19億円
前第1四半期粗利 0.63億円

売上
15四半期連続成長



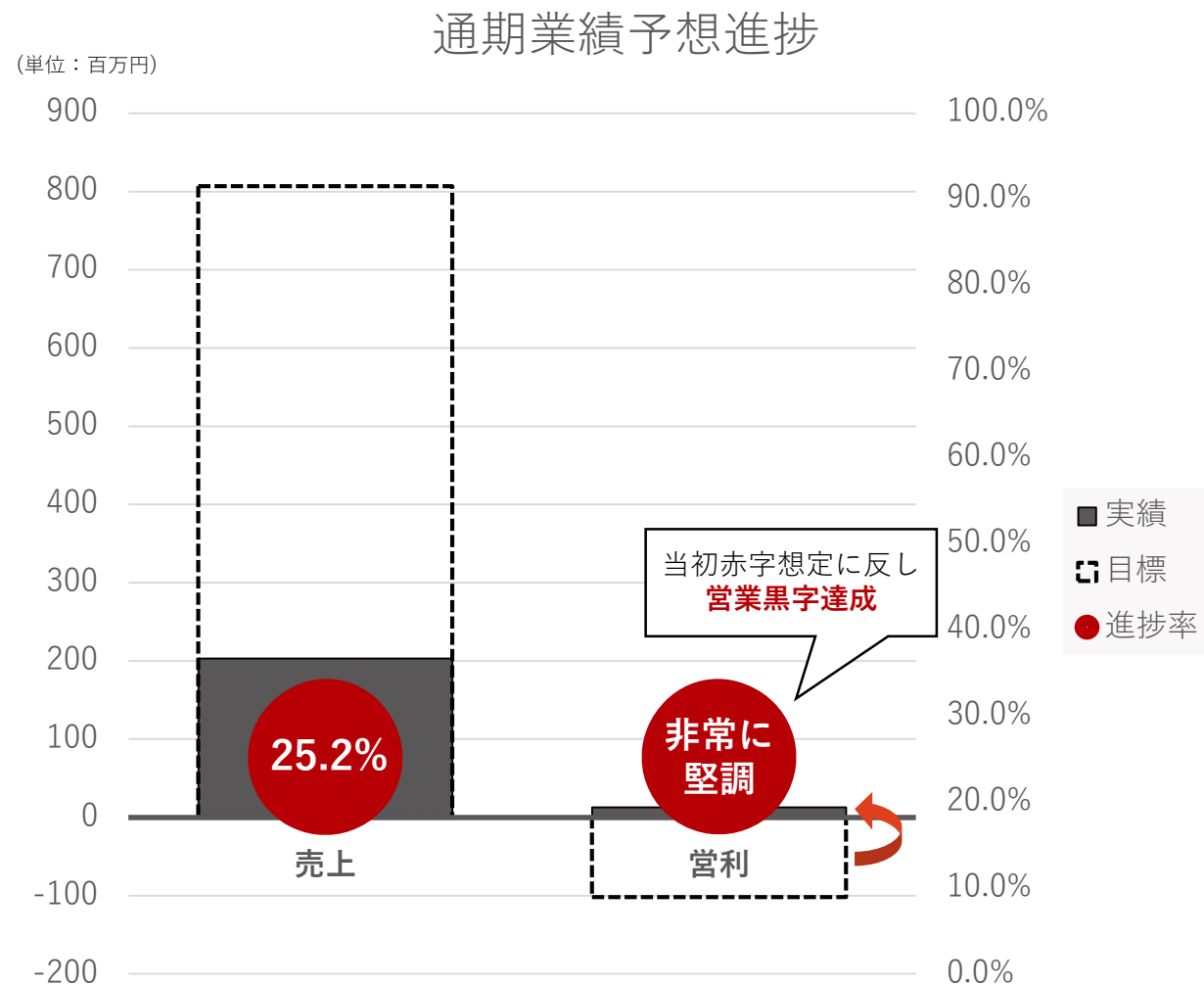
継続企業の前提に係る注記の開示

CBのコベナンツに抵触した結果、前期通期決算よりワーストケースとしてCBの早期償還を前提にGC注記を追加

各種資金調達の実現により
早期解消を目指す

通期業績予想に対し、**非常に堅調な進捗状況で推移しており、通期業績予想についても改善の蓋然性が高い**ものの、前期買収した事業である「メンタルヘルス事業のマヒナ」及び「オンライン家庭教師マッチングのオンコーチ」におけるPPAの影響が損益に与える影響を精査しているため、業績予想の修正は留保

2024年度9月期			
	1Q累計	通期予想	進捗率
売上高	203百万円	807百万円	25.2%
営業利益	13百万円	▲102百万円	非常に堅調



業績の安定化

第1四半期における**営業利益黒字化の達成**：営業利益13百万円

- ・フィンテック事業における流通総額及び売上が15四半期連続成長を達成
- ・フィンテック売上及び粗利ともに、前年同Q比約2倍
- ・資金移動業取得後は更なる収益改善の見込み
- ・デジタルマーケティング事業におけるセグメント利益大幅改善（当期1Q対比+41百万円、前期1Q対比+13百万円）

資金調達

第2四半期中に各種資金調達により**手元流動性（現預金残高）の強化を予定**

- ・GC注記の解消という観点からは、足元の資金を拡充させることが最も効果的な施策となる
- ・TIP（行使価格1,000円、100,000株）について、MSワラント化という選択肢は存在するものの、足元の株価の状況を踏まえ、短期的にはMSワラント化は行わない予定。但し、GC注記の解消を優先事項において判断していく

連結損益計算書（P/L）：2024年9月期 第1四半期決算概要（IFRS適用・会計期間）



当第1四半期会計期間は、フィンテック事業・デジマ事業の継続的な成長により、**売上・粗利ともに大幅に成長**
 また、販管費の適切な管理により、**営業利益の黒字化を実現**

単位：百万円	2024年9月期 第1四半期 (2023年10月～2023年12月)	2023年9月期 第4四半期 (2023年7月～2023年9月)	前四半期比	2023年9月期 第1四半期 (2022年10月～2022年12月)	前年同期比
売上収益	203	187	108%	95	213%
売上総利益	173	163	106%	85	203%
売上総利益率	85%	87%	▲2pt	88%	▲3pt
販売費及び一般管理費	176	226	77%	162	108%
その他収益及び費用	16	▲76	—	16	0%
営業利益	13	▲138	—	▲61	—
四半期利益	37	▲117	—	▲59	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	11	▲142	—	▲59	—

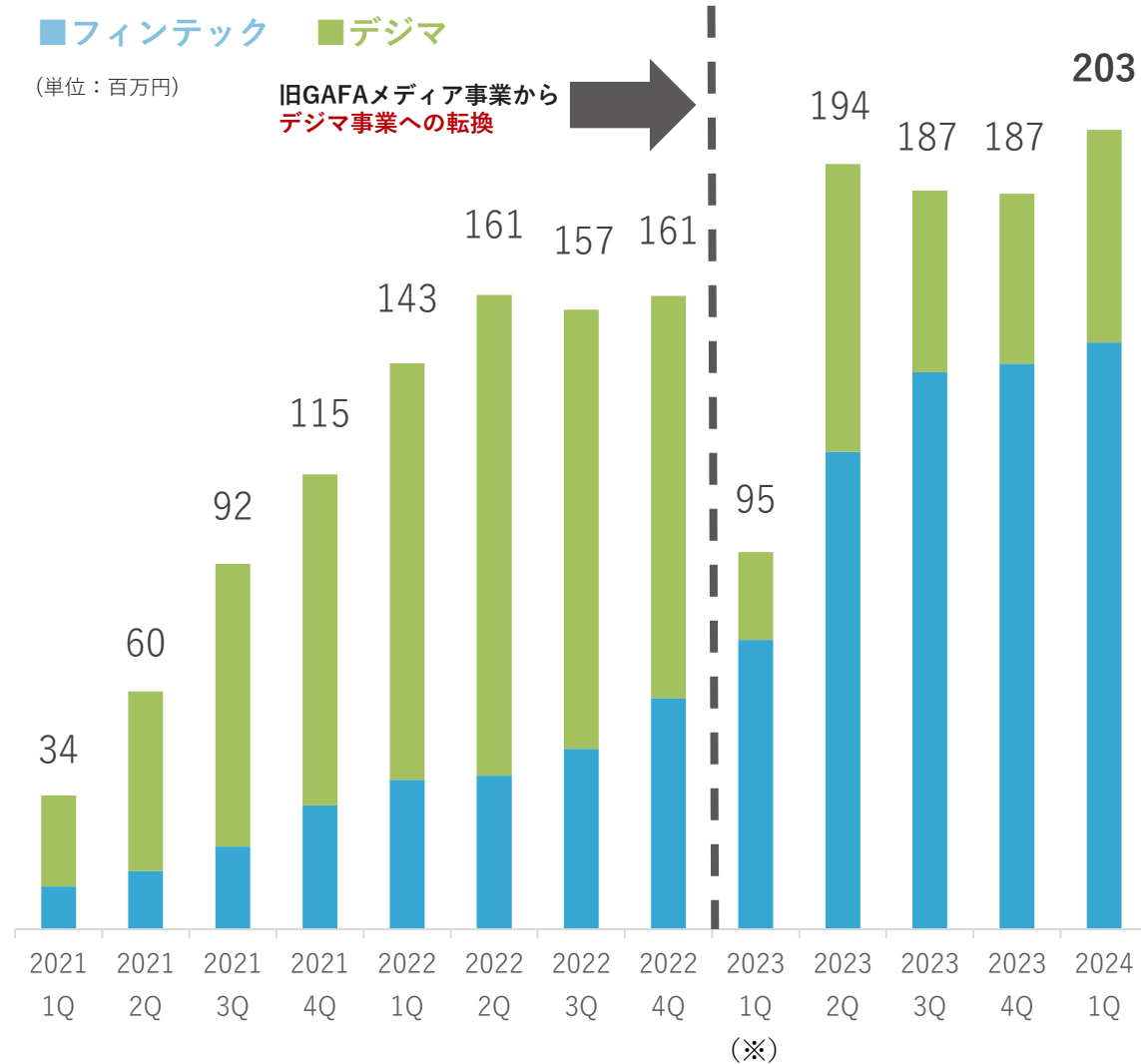
当社考察

- 1 前期に買収した事業の収益貢献により前年同期比で大幅に成長を実現。また、前四半期対比でも成長を継続した結果、7四半期ぶりの営業利益の黒字化を達成
- 2 債務免除益47百万円の計上による。

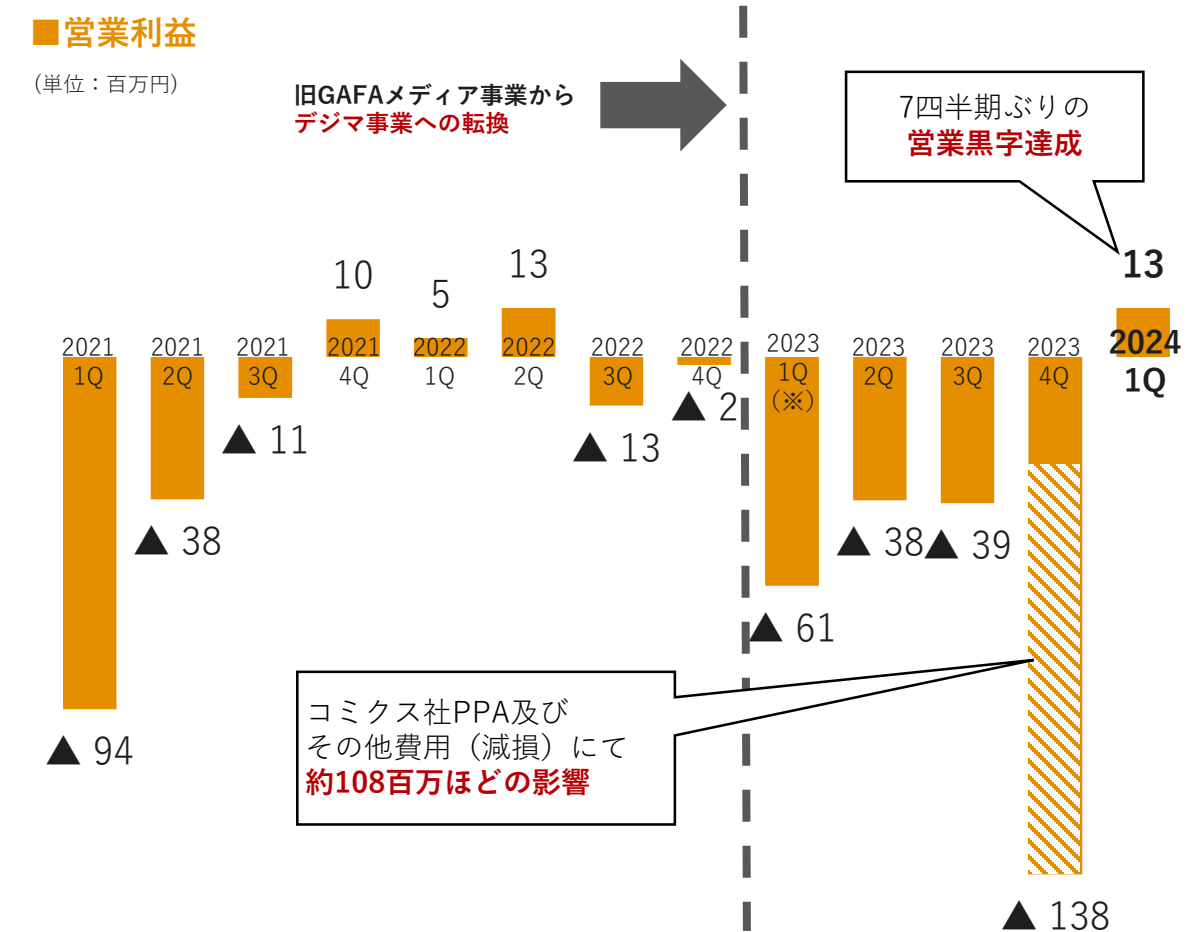
売上・営業利益 | 四半期毎の推移

第1四半期の売上高は、フィンテック事業、デジマ事業共に堅調に推移し、社名変更後における最高値を更新
また、販管費を適切に管理し、7四半期ぶりの**営業利益の黒字化を実現**

フィンテック・デジマ・グロースの四半期売上推移



営業利益の四半期推移



(※) 2023 1QよりIFRS適用

連結貸借表 (B/S) (IFRS適用)

代表取締役からの貸付け実行により、現金及び現金同等物が増加し、十分な流動性を引き続き確保。
第1四半期において四半期利益が37百万円となり、資本も改善することとなった

単位：百万円	2024年9月期 第1四半期末 (2023年12月31日時点)	2023年9月期末 (2023年9月30日時点)	前期末比
流動資産	1,141	1,014	112%
現金及び 現金同等物	512	444	115%
非流動資産	638	665	95%
資産合計	1,780	1,679	106%
流動負債	1,103	983	112%
非流動負債	128	167	76%
資本	548	528	103%
負債及び 資本合計	1,780	1,679	106%

当社考察

- 1 借入による資金確保1.3億円により、現金及び流動負債がそれぞれ増加
- 2 四半期利益37百万円の黒字化により、資本の状況が改善

2024年9月期1Q 業績状況(前Q比較・前年同Q比較)

前Q比較では**流通総額107%、売上104%**の成長率で着地。前年同Q比では**売上2倍、セグメント利益4.7倍成長**
流通拡大に向け今後は、資金移動業本申請、医療領域における前払い対応の強化を予定

	当Q実績	前Q実績	前年同Q実績	前Q比	前年同Q比
流通総額	1,402 百万円	1,307百万円	982百万円	107%	142%
売上高	149 百万円	143百万円	73百万円	104%	202%
粗利	119 百万円	120百万円	63百万円	99%	189%
販管費	67 百万円	83百万円	49百万円	80%	135%
セグメント利益	52 百万円	21百万円	11百万円	240%	478%

フィンテック流通総額の状況

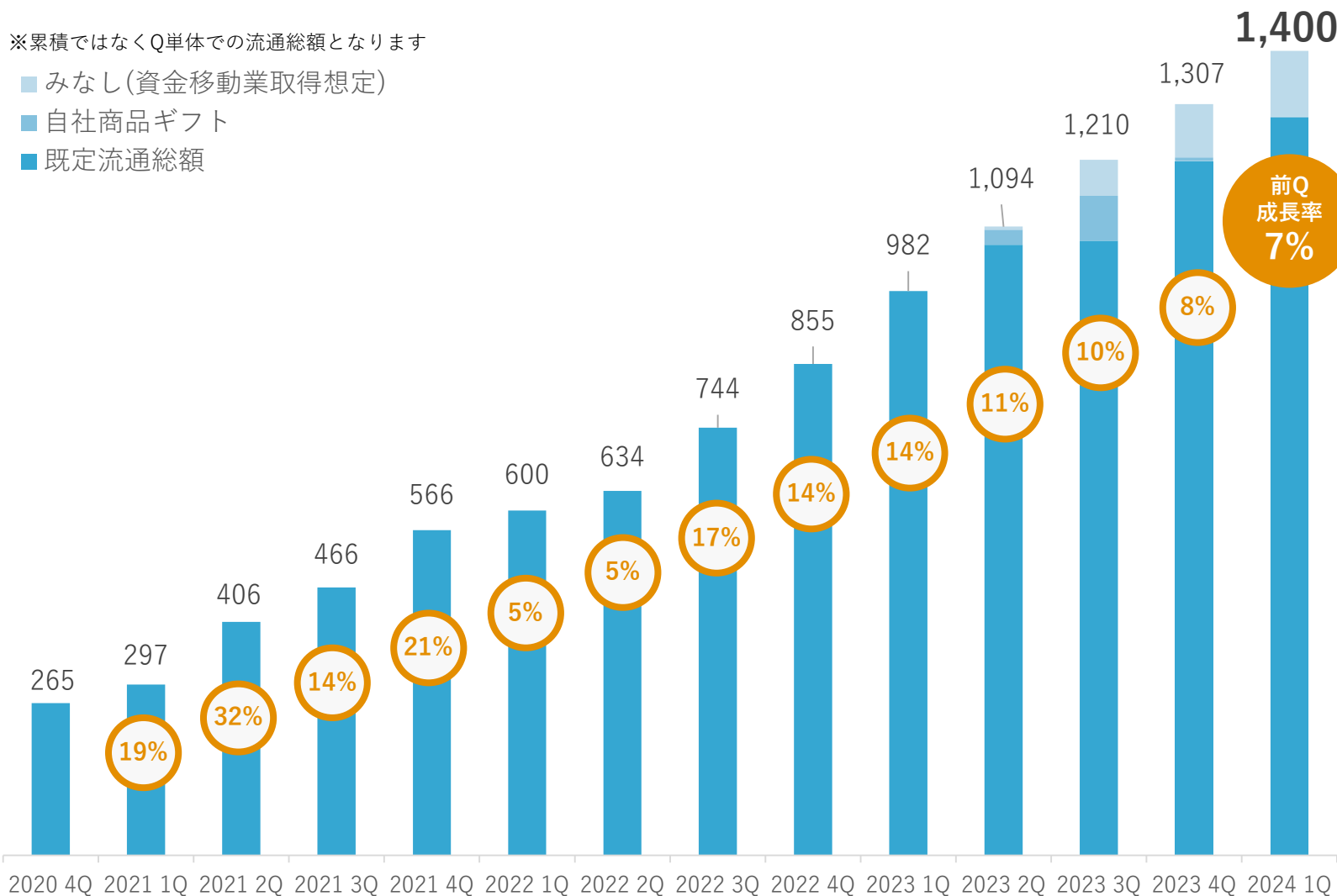
2024年1Qフィンテック流通総額は14億円を突破し、15四半期連続成長を達成

今後はデジタルウォレット(eKYC)本格展開。企業の支払いソリューション全般へと拡大し、より大きな成長を図る

フィンテック流通総額

※累積ではなくQ単体での流通総額となります

- みなし(資金移動業取得想定)
- 自社商品ギフト
- 既定流通総額



■既定流通総額

デジタルウォレットおよびデジタルギフト®での現金・電子マネー・キャッシュレス等のこれまでの流通総額。

■自社商品ギフト

取引先の商品・サービスをデジタルギフト化した取引額。単価は通常価格で算出。

■みなし流通総額

資金移動業取得後に、デジタルウォレットに連携、流通総額対象となる想定額。主に、デジタル&事業(マヒナ・オンコーチ)、給与前払い事業(Q給)における報酬支払額。資金移動業取得後、ロードマップにおける流通総額の成長を支えていく予定。



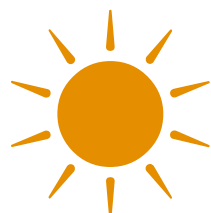
進捗率

15%

14億円

年間流通総額 前期倍増 90億円

進捗率15%に留まるも資金移動業の本申請に向けた準備は順調に進行
取得後の大型流通に向けた各社アライアンスも走り出し



進捗率

220%

11%

流通売上率

5%

現時点においては目標対比2.2倍を実現するも、
流通総額を第一優先に5%程度まで下がる可能性を読み込み済み



進捗率

94%

80%

粗利率

85%

資金移動業取得後のデジタル払いおよび、
流通拡大による仕入先のディスカウント効果による粗利改善を図る

クライアント季節要因により予算増加傾向。セグメント利益前年同Q比310%(+28百万円)で着地

	当Q実績	前Q実績	前年同Q実績	前Q比	前年同Q比
売上高	54百万円	43百万円	22百万円	125%	242%
粗利	53百万円	42百万円	22百万円	126%	244%
販管費 ^(※1)	28百万円	61百万円 ^(※1)	8百万円	46%	334%
その他収益及び費用 ^(※2)	16百万円	▲27百万円 ^(※2)	0百万円	-	-
セグメント利益	41百万円	▲46百万円	13百万円	大きく黒字化	310%

※1: コミクスPPAの顧客資産の一括償却費を含む

※2: IFRS上、売上高の一部をその他収益として振替計上。減損を含む

ディスクレイマー

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、
いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、

実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、
業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった
一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、
当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の
更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。